

CW と脳細胞の活性化

JJ1SXA 池

過日 CW 勉強会を行いました、これで、またまた CW マンが誕生すると思うと、本当にうれしい限りです、勉強会は、単に CW 運用ができるだけでなく、常識・知識を備えた CW マンになっていただきたいとの思いで内容を構成しましたので、もう少し多くの局に参加して頂きたかったと思いますが、次の機会を待ちましょう。

若い時に学校で学んだわけでは無く、全く基礎が無いのに、ある日思い立って始める事になり、後はただ下手の横好きで続けてきた、そんな私の話が、一寸だけでもお役に立てればと頑張りましたが、もう少し準備万端整えて望めば良かったかなと、若干は反省しています、物足りなかったところは、反省の気持ちに免じてご容赦ください。

しかし、私もこれを機会に、遠ざかりつつあった CW の世界に、また改めてのめり込めそうです、アマチュアに残され、また引き継がなければいけないであろうこのモード、折角覚えたモールスを忘れるなどとは、とんでもないことと再認識、今回の勉強会のため、CW 関係のホームページを色々見て回りましたが、私が免許を取った頃の環境とは雲泥の差、本当に役立つ内容のページが沢山あるのに驚き、同時にインターネットの便利さに感謝、時の流れを感じながら、早速ソフトで、和文の受信練習再開、目標高く？ PARIS・120 字/分の速度は、まだまだ脱字・・・完全征服は何時の日か？

CQ 誌・2006 年 10 月号に、JA1BWA 高橋 OM が書かれている記事(定年後のハムライフ)の中に、「・・・CW が不得手な方は、定年後はぜひチャレンジしてみる価値が十分です、それは脳細胞の活性化に役立つからです、CW 運用の良いところは、符号認識という脳の記憶領域の活性化のほかに、上達という要素があって、通信スピードが上がり、だんだん面白くなっていくのです、したがって、大きな社会問題になりつつある認知症への移行を、確実に遅らせることとなるでしょう・・・」とありました。

また、東北大学教授・医学博士の川島隆太先生の著書「脳力を鍛えるトレーニング」でも、「読み・書き・計算トレーニング・・・文字を書く、単純計算を速く解くと言う行為は、記憶力アップや、脳の中でとくに重要な働きをする前頭前野を活性化するのに、とても有効なトレーニングです」とあり、もっと効果をあげるためのポイントということで、「毎日続けることが大切」「朝が一番効果的」「静かな環境で集中して取り組む」「一人よりも誰かと一緒に行く」・・・等ということを述べていますが、この記事も脳の活性化と共に CW の勉強に相通ずるところがあると思いました。

認知症予備軍の最前線の年齢に達した私としては(笑)、非常に関心を寄せる所です、前頭前野を活性化させるためにも、CW を一生懸命やらなければと、思いを新たにしたところです、皆さんは、認知症予備軍には、まだまだ時間があります・・・とは言っても、これから CW を始めるには、若くは無の方(失礼)もいますが、脳の活性化、認知症予防(笑)のためにも、頑張って、一緒にトンツー・トンツーと楽しみましょう。